

AIによる自動診断技術の開発と遠隔医療の実現

課題：循環器疾患を原因とする心不全の激増と専門医への負担
心不全医療全体の安定化が必要

外来診療：50万件/月以上
入院診療：2万件/月以上

専門医

医療スタッフ

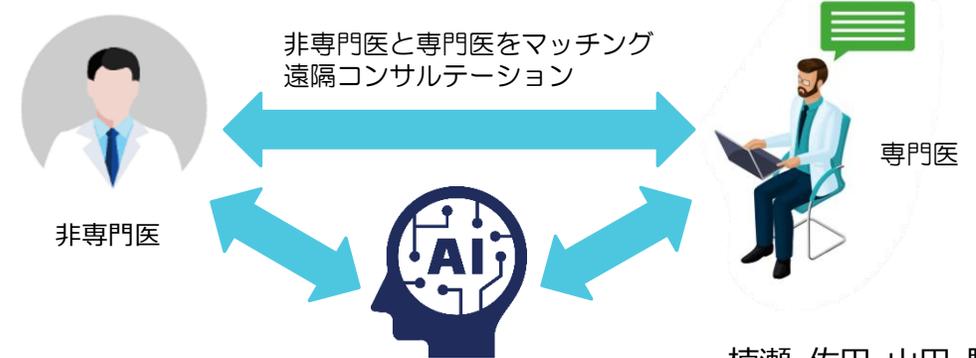


既存アプリケーションによる
医療情報の共有



遠隔医療によるタスクシフト

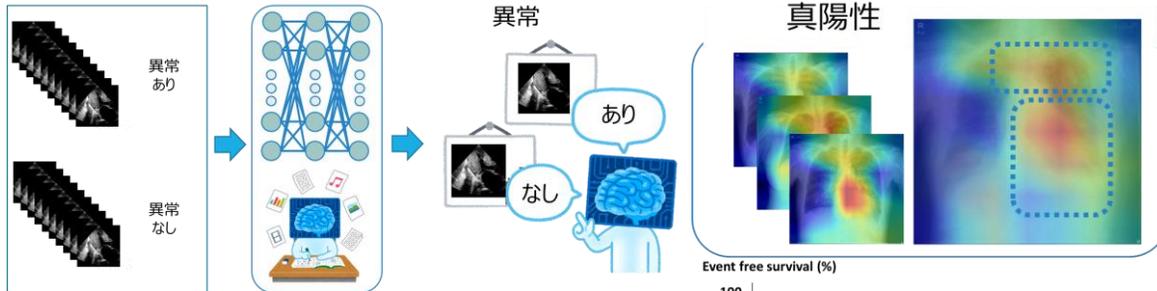
遠隔診療におけるAIモデルによる自動診断



楠瀬・佐田・山田・野村

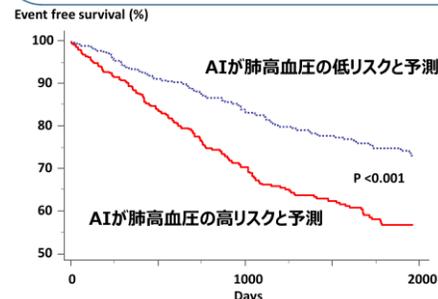
データ共有・病態可視化・診療支援のシーンにAIを活用

心不全診断AIモデルの開発



胸部X線画像，心電図，心エコー画像から
心不全診断を自動で行うAIモデルの開発

芳賀・下村・高坂



AI開発実績：キヤノン社との共同研究によりAIによる超音波検査の実装を推進。ハートオーガナイゼーション社との共同研究により遠隔診療端末の開発事業実施。

達成目標：

- 心不全診断AIモデルの確立
- 遠隔診療端末への心不全診断AIの応用
- 特許取得
- アプリケーションの開発，関連病院を含めた多施設での臨床研究開始